

各位

2025年6月16日

株式会社 GRCS

**青山商事が全社的リスクマネジメント支援ツール
「Enterprise Risk MT」を導入、リスク管理体制を強化
包括的なリスク管理で持続的な成長をサポート**

株式会社 GRCS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 慶和、以下 当社）は、当社が開発・提供する全社的リスクマネジメントツール「Enterprise Risk MT（エンタープライズ リスク エムティ、以下 ERMT）」を、青山商事株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：青山 理、以下、青山商事）に提供開始することをお知らせいたします。

<導入の背景>

近年、企業が直面するリスクは多様かつ複雑化しており、社会情勢の変化や自然災害、サイバー攻撃、経済の不確実性などが、企業の持続的成長を脅かしています。こうしたリスクを把握・分析し、適切に対策を講じるには多大な時間と専門知識が必要で、継続的な管理は大きな負担となっています。

こうしたリスクを包括的に管理し、迅速かつ効果的に対応するため、ビジネスウェア市場のリーディングカンパニーとして幅広く事業を展開する青山商事に向けて、持続的な成長を支えるガバナンスの高度化の一環として「ERMT」の提供を開始いたしました。

<本リリースに関するエンドースメント>

青山商事株式会社 リスク統括部 熊澤博史様

「ERMTを通じてデータを利活用することで、リスクマネジメント実効性を高められると考えています。今まででは、情報の収集やまとめる作業に多くの時間を費やし、分析に時間をあてられずグループ横断のリスクマネジメントを実行する中で大きな課題を抱えておりました。

アナログ的な管理では前述以外にもリアルタイムでの状況の可視化が難しい、リスクマップやクロス集計など多角的な分析が煩雑など、限界を感じておりました。

この度、ERMTを導入したことによりリスクの可視化と分析が容易になり、より迅速な意思決定やリスク対応の実施が可能になることを期待しています。今後も経営におけるリスク管理の重要性を認識し、サステナブルな企業運営を目指してまいります。」

<ERMTについて>

「ERMT」は、リスクマネジメントの国際ガイドライン ISO31000 に準拠した、全社的リスクマネジメントを推進する、日本国内開発の ERM クラウドサービスです。リスクの特定、分析、評価を行う「リスク

アセスメント機能」とリスクの対応策実施のモニタリングを行う「リスク対応管理機能」を提供し、組織全体のリスクマネジメントの継続的改善を可能にします。

また、リスクの発生可能性や影響度をリアルタイムで可視化するダッシュボード機能や、リスクの顕在化の予兆となるヒヤリハットの報告や分析を行うインシデント管理機能により、経営層と現場の円滑な情報共有と迅速な意思決定を支援します。

ERMT 製品ページ：<https://www.grcs.co.jp/products/ermt>

当社は今後も「ERMT」を通じ、リスク情報や対応策、インシデント情報の一元管理による一気通貫したリスクマネジメントの実現と、DX化による高度なリスクマネジメント活動の実現に寄与してまいります。

<会社概要>

会社名：株式会社 GRCS

代表者：代表取締役社長 佐々木慈和

所在地：東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル 5F

設立：2005年3月

資本金：50百万円

上場市場：東京証券取引所グロース（証券コード：9250）

事業内容：GRC・セキュリティ関連ソリューション事業

U R L：<https://www.grcs.co.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 GRCS I R 担当

E-mail: ir@grcs.co.jp